

[妙見信仰伝来地の現況調査]

茨木孝雄

日程： 2021年12月21日～23日

場所： 熊本県八代市

目的： 大陸から日本への妙見神伝来地として知られる熊本県八代市に残る妙見信仰関連史跡等の調査

成果： 1. 八代神社(旧・八代妙見宮)及び霊符神社(旧八代妙見宮中宮)を見学及び撮影(山頂の上宮は日程上困難なため断念)

2. 八代神社に伝わる太上神仙鎮宅七十二霊符(入手済)の来歴と現状を聴取確認

3. 八代市立博物館未来の森ミュージアム及び同民俗伝統芸能伝承館見学

ミュージアムにて、昨年開催された開館30周年記念特別展覧会の図録『妙見信仰と八代』を入手、学芸員から説明を聞く

4. 妙見神の上陸地として伝えられた竹原津跡に鎮座する竹原神社、同じく浅井津沿いに位置する浅井神社(小学校敷地内)を探訪



[八代妙見宮拝殿(写真左)と本殿(右)]



[竹原の津跡(竹原神社境内)]

経費： 佐賀駅～八代駅間運賃 往復 10,780円
八代市内宿泊費(2泊) 15,000円
市内目的地移動費(タクシー代)13,000円

今後の調査課題： 妙見信仰の東遷(瀬戸内海沿岸地域～能勢妙見・伊勢妙見の古跡)を追う。

“星の信仰”という広義のテーマにおいて、伊勢妙見は伊勢朝熊山の虚空蔵(金星)信仰との関連が深いとされる。山頂の金剛證寺(本尊・虚空蔵菩薩)とそこに祀られる雨宝童子(天照大神に比定される)に関する文献探査および実踏調査を行なう予定である。